

# 平成18年度 第17回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成19年 2月 10日 (土) 会場 ひたちなか市総合運動公園総合体育館

【男子第2回戦】 第1日目 Aコート 第5試合

チームA <b>東和大学昌平</b> 埼玉	<b>117</b>	28 1Q 25	<b>86</b>	チームB <b>前橋育英</b> 群馬
		25 2Q 20		
		36 3Q 19		
		28 4Q 22		
		OT		

## 東和大学昌平

番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	渡辺 拓実	26	1	12	13	2	3	1	1	2	5	5	3	1	35	
5	藤本 和也	4	2	2	3				2		2		1	1	12	
6	清原 和裕														DNP	
7	馬場 健司	27		13	19	1	3	4	2	6	4	1	4		28	
8	根木 大明	20	2	9	15	2	2	2	2	5	5	1	1		38	
9	桜田 亨	7	1	2	3				1	4	1	1	1		19	
10	北 直哉	15	1	4	6	7			2	1	1	6		1	38	
11	原 秀徳	15	1	7	7	1	1	1	4	2	1		1	2	24	
12	手嶋 敏喜				1										2	
13	谷口 翔大														DNP	
14	金久保 和宏														1	
15	瀬田 正登														DNP	
16	田中 優														DNP	
17	相場 祐希									1					1	
18	中居 秀貴	3		1	1	1	1	1			1				2	
コーチ	畔川 秀雄															
		117	2	12	52	69	7	10	15	9	20	19	15	11	3	200
		確率	16.7%		75.4%		70.0%			計	29					

## 前橋育英

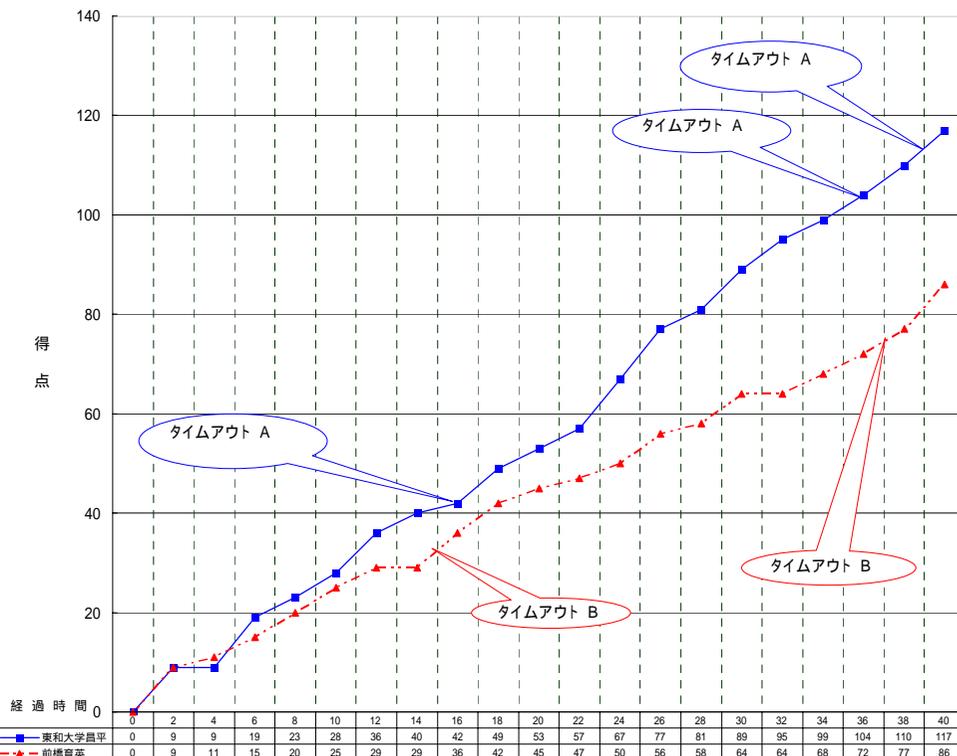
番号	氏名	得点	3P		2P		1P		反則	リバウンド		ターンオーバー	スチール	アシスト	フロッグショット	出場時間 単位:分
			成功	試行	成功	試行	成功	試行		OF	DF					
4	佐藤 侑紀	22	5	8	3	4	1	2	1		2	3	1		33	
5	根岸 健太	19		9	10	1	4	4	1	8	5	1	1	1	37	
6	中野 裕市	11	3	9	1	4	1	1	2		3	2	1		34	
7	高橋 竜也	1			1	1	2				5	4	3		31	
8	小林 拓也	22	4	10	4	6	2	5	5	2	5	1	1		39	
9	伊藤 倫耶	2			1	2									9	
10	織茂 悟士				1								1		4	
11	中村 俊己														1	
12	小川 恵太														DNP	
13	内田 晃司														DNP	
14	神谷 卓宏														DNP	
15	竹内 良輔	9	1	2	2	3	2	2		2	1				12	
16	野尻 将太郎														DNP	
17	勅使河原翔太														DNP	
18	富沢 真也														DNP	
コーチ	安西 智和															
		86	13	29	20	31	7	16	12	3	11	20	11	8	1	200
		確率	44.8%		64.5%		43.8%			計	14					

スターティングメンバー

出場選手

## 2分毎による得点の推移

東和大学昌平 前橋育英



## 戦評

試合はいきなり育英#4佐藤の3Pシュートで始まった。なんと開始3秒である。両チームともハーフマンツーマンで固い守りを見せる。育英は#4佐藤と#8小林の3Pシュートが入り、リズムを作るが、対する昌平もディフェンスリバウンドからの速攻で確実に点をかせぐ。特に#4渡辺と#7馬場のインサイドの1on1は強力で育英も苦戦していた。第1PIは28-25、昌平のリードで第2Pへ。  
 第2Pも第1Pの流れ同様、一進一退の攻防を繰り返す。育英も3Pシュートだけでなく、#5根岸を起点としてインサイドをくずしに入るが、昌平#7馬場にパスカットをされ、逆に速攻から相手にリズムを作られる。さらに昌平は残り3分半から2-3ゾーンを仕掛け、インサイドを固め、リバウンドからの速攻で一気に点差を広げる。育英も#4佐藤、#6中野の3Pシュートで応戦するが、前半は53-45、昌平リードで終了する。  
 第3P、昌平は2-2-1ゾーンプレスを仕掛け、バックコートでボールをカットして得点。流れは一気に昌平へ。育英も#5根岸を中心にリバウンドからの速攻を仕掛けるが最後のシュートがなかなか決まらない。第3PIは89-64で昌平が差を広げて第4Pへ。  
 第4PIは昌平のディフェンスも3-2ゾーンに切り替わる。育英のシューターに対して、激しいプレッシャーを与える。オフェンス、ディフェンスともにリバウンドは昌平が競り勝ち、着実に得点を重ねる。育英も#8小林の3Pシュートで粘るが、最後は昌平の勝利への執念が育英を上回った。

主審	平 育雄(本部)	副審	飯島 裕紀(茨城)	記入者	岸本 貴志
----	----------	----	-----------	-----	-------